

平成26年8月7日

日本証券業協会総務部 御中

一般社団法人 信託協会

**「国債取引の決済期間の短縮(T+1)化に向けたグランドデザイン
(暫定版)」に対する意見**

標記につきまして、下記のとおり意見を取りまとめましたので、何卒、ご高配を賜りますようお願い申し上げます。

記

	該当項目 (頁数)	意見・理由
1	取引形態の一元化 (32 頁)	<p><意見></p> <p>取引形態の一元化を視野に入れた検討は意義あることであり、市場参加者の経済合理性、市場流動性への影響、一元化の実現方法、適正な実施時期の検証（オペレーションリスク等の観点）等について、法形式のみならず機能の観点を含めた整理を行っていただきたい。</p> <p>その際には、ワーキンググループの議論を熟知されていない業態の方々等を含めた幅広い参加者の間で十分な議論と認識の共有を行った上で、信託を通じて参加する投資家にとっても理解が得られる様進めていただきたい。</p> <p><理由></p> <p>仮に現状市場比率が14%の新現先に一元化させる場合は、ドラスティックな移行となることから、十分な検証と慎重な判断が必要であると考えられるため。</p>

以上